

## 再評価結果（平成19年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課  
担当課長名：木村 昌司

<b>事業名</b> 一般国道41号 猪谷榆原道路 <small>いのたににれはらどうろ こいとにれはら</small>	<b>事業区分</b> 一般国道	<b>事業主体</b> 国土交通省 北陸地方整備局
<b>起終点</b> 自：富山県富山市小糸 至：富山県富山市榆原	<b>延長</b> 6.6km	
<b>事業概要</b> 一般国道41号猪谷榆原道路は、事前通行規制区間の解消、急カーブ・急勾配区間及び冬期交通障害の解消、災害に強い幹線道路ネットワークの形成を目的とした、約6.6kmのバイパス事業である。		
H9年度事業化	H13年度用地着手	H14年度工事着手
<b>全体事業費</b> 260億円		<b>事業進捗率</b> 32%
<b>計画交通量</b> 10,500～14,600台/日		<b>供用済延長</b> 2.2km
<b>費用対効果分析結果</b> B/C (事業全体) 1.5 (残事業) 2.7	<b>総費用</b> (残事業)/ (事業全体) 155/284億円 (事業費：123/252億円 維持管理費：32/32億円)	<b>総便益</b> (残事業)/ (事業全体) 421/421億円 (走行時間短縮便益：339/339億円 走行費用減少便益：68/68億円 交通事故減少便益：15/15億円)
<b>感度分析の結果</b> 残事業について感度分析を実施 交通量変動：B/C=2.4～3.0 (交通量±10%) 事業期間変動：B/C=2.6～2.8 (事業期間±20%) 事業費変動：B/C=2.5～2.9 (事業費±10%) 割引率変動：B/C=2.4～3.1 (割引率±1%)		
<b>事業の効果等</b> ・事前通行規制区間の解消 ・急カーブ・急勾配区間の解消・冬期交通障害の解消 <span style="float: right;">他7項目に該当</span>		
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 猪谷榆原道路事前通行規制を解消し、信頼度の高い幹線道路ネットワークを形成するとともに、飛騨高山地域との交流促進など期待される効果は大きい。富山市をはじめとする関係4市2町1村で構成される地域高規格道路富山高山連絡道路(国道41号)整備促進期成同盟会等より建設促進を受けている。		
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> 特になし。		
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> 富山市庵谷～榆原間(L=3.0km)間は、工事促進、平成20年度の供用を目指している。 富山市小糸～片掛間(L=1.4km)間は、平成19年度より地元協議及び用地買収に着手する。		
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> 富山市庵谷～榆原間(L=3.0km)の用地買収は既に完了し、平成14年度より工事着手をしており、平成20年度の供用を目指している。富山市小糸～片掛間(L=1.4km)間は、平成19年度より地元協議及び用地買収に着手する。		
<b>施設の構造や工法の変更等</b> プレキャスト製品の積極的な活用及び大型化(長尺化)、建設発生土の有効利用、再生材を利用した舗装、路盤工の活用によりコスト縮減に考慮している。		
<b>対応方針</b> 事業継続		
<b>対応方針決定の理由</b> 事業の効果並びに事業の実施状況を踏まえ、事業の継続が妥当である。		
<b>事業概要図</b>		



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。